会たばり

[題字] 寺田 逸勢さん(安宅行政区・小3)





▲賑わう会場(元 おもちゃのサイトウ)

2月 定例会議

人勧による町職員給与改定案否

議会災害時対応マニュアル制定

川崎町議会ホームページ

川崎町議会検索

QRコードからもご覧になれます▶

http://www.gikai-kawasaki.com/

今年度の議会だよりの表紙は、≪大好き かわさき町≫がテーマです。 みんなの大好きな川崎町に関する写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送ください [お問合わせ] 議会事務局 ☎72-3000 内線(318⋅319)



人事院勧告による町職員給与改定案習激

人事院勧告を受け入れた政府の閣 議決定による流れから、今議会に町 職員給与(引き上げ)に関する条例改 定案が提出されました。

内容は等級上位の者で月額400円から若年層で初任給に近い者で月額1500円、平均すると0.2%増の改定でした。

これを受け議会は本会議で討論採 決の末、反対8、賛成7、で否決しま した。 ·〔反対意見·谷口議員〕

川崎町の財政は逼迫しており未だ再建の道半ば、公的債務は130億円にのほり町民一人当たり76万円である。人事院の判断材料にしている従業員50人以上の企業は数社しかなく、多くは給与的には恵まれていない中小企業であり行政としてもその状況、思いを汲み取ってもらいたい。

-〔賛成意見•櫻井議員〕-

人事院勧告制度は、スト権の無い公務員の適正な処遇を確保するために、 労働基本権をよりどころとしているものです。

職員の勤務条件を良好に確保することは、その努力や実績に報いるとともに人材確保にも資するもので、組織活力の向上等により行政の効率的、安定的運用に寄与するものである。

一部の契約が継続してできるようになる

長期継続契約を締結することが出来る条例を制定

- ・物品借り入れで、一般的に複数年にわたることが習慣的なもの。
- ・役務の提供の契約で、一般的に複数年にわたることを要するもの。

農業機械備品の購入

トラクター・田植機・コンバイン・ トレーラー各 1 台

契約金額 1185万4080円

契約の相手方

福岡県田川市大字弓削田251番地の5

株式会社福岡クボタ田川営業所 所長 城戸崎 修

事業目的

農業機械作業受託組織に農業機械を貸出し、担い手がいない等農家からの農業機械作業依頼に対応するため、農業機械を購入します。

城山子どもの森公園 11月23日オープン

平成29年度から平成30年度の2カ年で町制施行80周年記念事業の一つとして整備が行われてきました。この城山子どもの森公園の適正な管理が行えるよう条例が制定されました。

De・愛 指定管理の指定期間の変更

現在、川崎町農産物直売所と川崎町農産物加工所を株式会社川崎 De・愛が平成29年4月1日から平成32年3月31日までの間、指定管 理を行うようになっていますが、昨年7月に川崎町農産物直売所に 出荷者組合が設立されたため、農産物直売所と農産物加工所のパン 工場棟の指定管理を平成31年3月31日までと変更するものです。

なお、加工所の一部であるもち惣菜棟につきましては、引き続き 株式会社川崎De・愛が指定管理を行います。

指定管理者の指定

農産物直売所と農産物加工所のパン工場棟の指定管理者を出荷者組合が、平成31年4月1日から平成34年3月31日まで行うようになりました。

課の機構見直しを承認

「住民保険課」と「環境保全課」が『**住民課**』 に、「社会福祉課」が『福祉課』に、「建築課」 と「建設課」が『事業課』に改正されます。

統合中学校 校舎建設工事

契約金額 17億2368万円

契約の相手方

福岡市中央区赤坂1丁目9番20号 溝江建設株式会社

代表取締役社長 松永 慎太郎

解体工事費の増額変更

平成30·31年度(継続費)川崎町立統合中学校 川崎中学校解体工事(2期)の請負契約を1億528万2000円で平成30年7月12日に議決を行っていましたが、今回契約金に消費税分の842万2560円と追加工事に要した63万6120円を追加し1億1434万680円と議決内容が一部変更になります。

町営住宅明渡等請求 5件

三ヶ瀬団地 1件

三井朝日町団地 1件

三井緑ヶ丘団地 1件

大峰団地 1件

東田原団地 1件

滞納金…55万5500円~159万5780円

未来の子どもたちのためにも

滞納等はやめましょう

補正予算

災害の本格復旧に向けた一般会計補正予算 (第4号) を可決 (11月会議)

補正前の額	補正額	補正後の金額
122億5203万円	2億9730万円	125億4933万円

平成30年7月の西日本豪雨による災害発生箇所については、一日も早い復旧に向けて取り組んでいるところですが、11月会議では災害復旧工事費に係る費用が補正予算として計上され、可決されました。補正予算の主な内容は次のとおりです。

○農地災害復旧費······	4000万円
○農業用施設災害復旧費	1360万円
○林業用施設災害復旧費	9000万円
○道路橋梁災害復旧費1億	意3500万円

○河川災害復旧費·················· 1800万円

般会計補正予算 (第5号) は職員給与改定分を修正可決 (12月定例会議)

補正前の額	補正額	補正後の金額
125億4933万円	8474万円	126億3407万円

執行部より提案された一般会計補正予算(第5号)は8613万円の増額 補正でした。

しかし、補正額の中には職員給与改定分の139万円が含まれており、職員給与改正の条例案を否決した議会としての整合性を図るため、予算決算委員会より修正案を提出し、討論採決の結果、賛成多数により修正可決されました。

可決された補正予算の主な内容は、以下のとおりです。

○福岡県知事・県議会議員一般選挙費	995万円
○幼稚園エアコン設置費	697万円
○町道米田東川線災害復旧事業費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3000万円
○乙女ヶ丘分譲地買い戻しに伴う経費	575万円



▲法面が崩れた町道米田東川線

給食センター特別会計補正予算 (第2号) は否決

給食センター特別会計補正予算は、職員給与改定分に係る増額補正が主な内容でした。 職員給与改正の条例案を否決した議会としては、付託された予算決算委員会で否決すべきものと決定し、本会議 においても討論採決の結果、原案賛成少数により否決されました。

国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (第3号) は可決

補正前の額	補正額	補正後の金額
24億8603万円	4278万円	25億2881万円

補正予算の主な内容は、以下のとおりです。

- ○過年度国・県補助金返還に要する経費・・・・・・・4251万円

※金額については、 千円以下を四捨五入しています。

地方独立行政法人川崎町立病院 平成29年度業務実績に関する評価

- ●住民に対して提供するサービスその他の 業務の質の向上に関する事項……C評価
- ●業務運営の改善及び効率化に 関する事項………………………… C評価
- ●財務内容の改善に関する事項……C評価 大項目すべてにおいてC評価が妥当
- 5段階による評価を行っている
- S 中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある A 中期目標・中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる
- B 中期目標·中期計画の達成に向けておおむね計画どおり進んでいる
- C 中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
- D 中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある

川崎町議会災害時対応マニュアル制定

川崎町議会は、町民を代表する議事・議決機関として、常に町民の負託に応え、その機能を 発揮する役目を担っています。町内で大規模な災害が発生した場合、被災住民の救援や災害復 旧のために町と連携して非常時に即応した機能を果たすため、町議会及び議員が共通認識を持 ち、迅速かつ適切な行動がとれるよう対応マニュアルを定めました。平成30年12月13日から施行しています。

対応マニュアル策定の目的

1. 災害時の議会機能の維持

住民の代表として町の意志決定を行う議会は、災 害時においても機能を維持する必要があり、対応す る体制を整えておく必要がある。

2. 町災害対策本部との情報の共有

災害時に議会が審議・議決機能を適正に実行する ためには、町災害対策本部の正確な情報を早期に共 有することが必要である。

3. 議員から町への情報伝達の一元化

災害時に議員が個別に町へ情報を求めたり、要望活動を行った場合、執行部の救助や復旧活動に支障をきたすおそれがあるため、各議員からの情報を一元化し執行部に伝えることが必要である。

4. 災害時行動マニュアルの策定

議会や議員が災害時にどのように行動し、復旧・復 興に関わるのか、不測の事態を想定して行動マニュ アルを定めておく必要がある。

災害発生時の行動原則

1. 安否の報告

議員は、速やかに自身の安全を確保した上で、 議会事務局へ安否、連絡先等を連絡する。

2. 地域での活動支援

議員は、参集の求めがあるまでは、地域の一員 として救援・復旧活動等の支援を率先して行う。

3. 被災情報等の収集と共有

議会事務局は、川崎町災害対策本部の情報を 速やかに収集し、議員に情報を提供する。

議員は、地域における被災状況、町民の要望等の収集に努め、必要に応じて議会事務局に報告する。

災害等に関する議員からの情報提供及び町からの災害情報の収集は、緊急時を除き、議会事務 局を窓口として行う。

対応マニュアルの対象となる災害は、風水害、地震災害、その他災害です。

公園用的心雕入

小さな子どもが、親と寝そべって遊べるよう芝生敷きにし、階段ステージのみを有する シンプルな公園整備を行う予定です。

場 所 川崎町総合福祉センター裏の 中元寺川沿い

購入面積 7275㎡

購入価格 1404万2080円

阿道路線の区域の変更

- ○**永井行政区内**に平成32年度に統合される川崎 中学校の通学路の安全確保に幅員を拡幅する ための幅員の変更を行います。
- ○西田原行政区内の公門原線における道路拡幅 に伴う道路幅員の変更を行います。
- ○**荒平・黒木行政区内**の十郎口・黒木線道路災害 復旧工事に伴う町道の一部路線変更により区 域の変更を行います。

議会報告会のご意見の回答





※当日は、手話通訳と 託児が行われました。

11月23日の議会報告会で質問をうけましたので、回答をいたします。

- (株)川崎De・愛の経営状況の報告の中で、累積赤字を資本金から引くと いう会計処理はおかしい。
- 9月議会で、資本金は1900万円であり、平成29年度までの利益剰 余金は▲1754万6954円で資本金から利益剰余金を引いた純資産は145万 3046円でした。その後3月31日の資本金残が145万3046円と誤った説明 を受けていたことが判明しました。

資本金を減資した額を繰越欠損金に補填する会計処理を行なったものです。 議会だより132号P3 株式会社 川崎 De・愛 経営状況の記事中の資本金 残を純資産に訂正いたします。

- 営業外利益の内容は。
- 加工所家賃、ラベル収入、テナント出店料、自動販売機収入などです。
- 資本金を減額しなくても、赤字であれば法人税は課税されないのでは。
- 赤字であっても、資本金の額及び従業員数で法人税の均等割は発生します。
- 7月豪雨の被災箇所における復旧の進捗状況は。
 - 豪雨災害は、25カ所で発生しましたが、高見団地下の法面崩壊については、 県が復旧工事を行ないます。今後の地質調査で法面が動いてないことが確認 できれば、着手できますが、動いている場合は復旧まで時間が必要です。そ の他の災害箇所は、今年1月から復旧工事にかかります。

平成30年度 第6回川崎町議会(11月会議)

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果 手 松 繁 大 西 千 谷 小 見 手 標 寺 奈 植 裏 岡 永 谷 山 東 口 田 月 康 井 田 野 口	関連記事
議案第21号	工事請負契約の締結について(平成30·31年度(継続費)川崎町立統 合中学校校舎建設工事)	(可決)簡易表決	P2
議案第22号	財産の取得について(平成30年度農業機械備品購入)	(可決)簡易表決	P2
議案第23号	平成30年度川崎町一般会計補正予算(第4号)について	(可決)簡易表決	Р3

平成30年度 第7回川崎町議会(12月定例会議)

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛 否 の 結 果 手 松 繁 大 西 千 谷 小 見 原嶋 手 櫻 寺 奈木 樋 原嶋 井 田野 口田月	関連記事
議案第25号	川崎町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例に ついて(原案否決)		, ·
議案第36号	平成30年度川崎町一般会計補正予算(第5号)について(修正可決)		Р3
議案第37号	平成30年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第2号)に ついて(原案否決)		РЗ
報告第13号	専決処分の報告について(工事請負契約の締結に係る議決内容の 一部変更)	報告のため採決はありませんでした	P2
報告第14号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした	P2
報告第15号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした	P2
報告第16号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした	P2
報告第17号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした	P2
報告第18号	専決処分の報告について(建物明渡等請求の訴えの提起)	報告のため採決はありませんでした	P2
報告第19号	地方独立行政法人川崎町立病院の平成29年度に係る業務実績に関 する評価結果について	報告のため採決はありませんでした	РЗ
議案第24号	川崎町教育委員会委員の任命について(尾田延弘)	(同意)簡易表決	
議案第26号	川崎町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の 制定について	(可決)簡易表決	P2
議案第27号	川崎町課設置条例の一部を改正する条例について	(可決)簡易表決	P2
議案第28号	指定管理者の指定期間の変更について	(可決)簡易表決	P2
議案第29号	指定管理者の指定について	(可決)簡易表決	P2
議案第30号	川崎町城山子どもの森公園の設置及び管理に関する条例の制定について	(可決)簡易表決	P2
議案第31号	財産の取得について(川崎町観光交流公園整備用地の不動産購入)	(可決)簡易表決	P4
議案第32号	町道路線の区域の変更について	(可決)簡易表決	P4
議案第33号	町道路線の区域の変更について	(可決)簡易表決	P4
議案第34号	町道路線の区域の変更について	(可決)簡易表決	P4
議案第35号	町道路線の区域の変更について	(可決)簡易表決	P4
議案第38号	平成30年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)について	(可決)簡易表決	P3
	奈木野康徳議員の議員辞職について(平成30年12月13日)	(許可)簡易表決	
•		·	

賛否表の表示は、○…賛成、●…反対、⑩…欠席、⑱…退席、⑱…除斥となっています。

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

一般質問

ここ よりよいまちづくりを めざして

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり 町当局の考え方や疑問をただすことです。





問 教室に置いて帰る置き勉対策は

管 置き勉については認めております

通学用の荷物が多すぎる。こんな声が児童、生徒、保護者から上がっていることを受け、文部科学省は今月の6日(12月6日)全国の教育委員会に対し、一部の教材を教室に置いて帰るいわゆる置き勉を認めるなどの対策を検討するよう通知をしました。とあります。

子どもの荷物はどれだけ重いのか、その実態と理由を探るとの新聞報道を見ました。

文部科学省から置き勉を認める などの対策を検討するような通知 がありましたか。

教育長 置き勉の件ですが、文科省 からは以前より通知が再三 参っております。

▶ 1 つの例ですが、中学生の通

学用のリュックの中身は、教科書4冊を筆頭にノート、問題集がそれぞれ4冊、各教科の資料などプリント等が入ったクリアファイル、筆記道具、水筒などその重さは8キロをこすと言われています。それに部活用具を入れた補助バッグや体育着などが加わり、雨の日には傘

も差すとなると、片道が10分ほど の登下校であっても一苦労であり ます。

教育長は小中児童、生徒のカバン 等、点検及び重さの実態を調査した ことがありますか。

教育長 かバン等の重さの実態調査 をした事はありません。

以前から重いという事は分かっ ておりますので置き勉については 認めております。 置き勉については賛成と反対意見があるようです。反対意見としては、家庭学習が身につかない。教室の美観、盗難、紛失等心配の声が保護者からでているようです。

教育長 保健の本とか、図工の本などは1カ所に集めて管理しています。予習復習の必要な教科書は持って帰るように指導しております。



▲教科書等いっぱいのカバン



問 選挙権の年齢引き下げに伴って の取り組みは

圏 具体的かつ実践的な指導が重要

選挙権の年齢引き下げに 伴って選挙の大切さ、政治参 加への大切さ、自分の判断で投票す る重要性を教育するお考えを尋ね ます。

平成27年、公職選挙法の改正 によりまして、本町では平成 28年の参議院選挙から投票が出来 るようになり、この選挙では、18歳 と19歳の有権者数338人で、投票率 は35.2%でした。

毎年1月の成人式の際、川崎町明 るい選挙推進協議会の委員により、 選挙への啓発活動、投票を促す模擬 投票や啓発活動を行っていますが、 今のところ10代への選挙啓発活動 は行っておりません。

中学校を卒業し、3年後に選挙権 が得られることを考えると、中学生 の内から選挙に興味を持つことが 重要となります。

選挙に対する教育方針としまし て、議会制民主主義の意義や選挙の 仕組み、理解に加え現実の具体的な 政治的事例を扱い、生徒が自らの判 断で権利を行使する具体的かつ実 践的な指導を行うことが重要である と考えております。

問 本町の獣対策は

圏 情報収集を行い 被害防止に努める

本町は深刻な獣害対策を防 護柵や狩猟者に頼っている と思います。被害の抑制は出来て も被害を食い止めるには至ってい ないと思います。

昨年は彼岸花まつりも中止、安宅 の素晴らしい景観が柵によって損 なわれています。

添田町では、ロボットのスーパー モンスターウルフを導入、受胎抑え 理論もあるそうです。被害を食い 止める思案を尋ねます。

有害鳥獣による農作物への 被害はもとより、最近は市街 地にまでイノシシ、シカが出没し、 今のところ人的被害は無いが、将来

は被害発生も十分考えられると思 います。

防護柵の設置や猟友会の方を有 害捕獲員に任命、箱罠大小、町内一 円に約100基設置。頭数を減らすこ とが先決です。1頭の捕獲に1万 1000円支払っています。

唯一添田町では、スーパーモンス ターウルフ1台を導入。効果につ いては、検証中、今後、情報収集を行 いながら被害防止に努めます。添 田のスーパーモンスターウルフの 話も具体的に効果はまだ実証され ていない状況であり、もう一つ工夫 したらどうかと寺西添田町長が言 われていました。

全体的な被害を縮小させるには、 数を減らす取り組み以外の解決方法 しかないのではないかと思います。





問 乳幼児健診の聴覚検査は

圏 小児科医が音による反応を検査

新生児1000人に1人か2人 といわれる難聴を早期に発 見する聴覚スクリーニングの結果 等を把握していますか。

健康づくり保健センターに乳幼児家 庭全戸訪問事業があり、

母子手帳の新生児聴覚検査の項目 結果の確認をしています。

重度難聴等で人工内耳手術 をする場合、保護者が判断す ることになりますが、デメリットを 含めた十分なアドバイスが必要で す。行政の対応は。

社会福祉 意見書を出す医師や障が い児相談支援事業所にも

働きかけをし、有効性またはデメ リットをきちんと説明していただ き、後々家庭内でトラブルがないよ う配慮に努めたいと思います。



▲聴覚スクリーニング中の新生児

🖫 見守りネットワークの 現状は

圏 一層活性化に向け取り組む

行政区の見守りネットワーク は以前より進展していますか。



▲川崎町まちづくり勉強会

現在13地区で活動していた だき、地域の高齢者の安全安 心な暮らしの確保に寄与していた だいている状況であります。

ITを利用して安否確認をす る自治体が増えています。 そのためには、現状把握が必要で す。ネットワークのできていない 行政区に対する指導等は今後、行わ れますか。

一強化が必要な状況もありま すし、マンネリ化の現状も見 られるので、再構築に向けた取組が 必要だと思います。

交通弱者に対する取組は進 んでいますか。

町づくりフォーラムを開催 し、住民主体の勉強会を立ち 上げ、その中で交通弱者の問題も含 め、高齢者に関する問題点を明らか にし、解決策を住民と行政が共に取 り組んでいくことが必要だと思い ます。

問 学童保育の現状は

圏 国の基準を守りながら運営

国は自治体からの要請で、指 **導員について資格がない場** 合でも採用ができるよう改正しよ うとしていますが、保護者や学童指 導員の団体は反対しています。本 町の現状はどうですか。

国の指針が決まり次第、児 童、保護者、支援員等の不安 の少ない体制をつくっていきたい と考えております。

学校から服装違反等で帰さ れた子どものフォローはで きていますか。

一時的な指導で収まります が、家庭環境や保護者との話 し合いで対応できないケースもあ ります。今後も学習権を保障して いくために努力していかねばなら ない問題です。



問 安全点検後の課題と 防犯カメラ設置は

窗 防犯対策など具体的な検討中

9月に行われた校区別の安 全点検後の課題と、防犯カメ ラ設置の必要性はどうなりました か。

教育委員会事務局で現地調 査を行い、カーブミラー・ ガードレール・階段の補修について は、関係部署と協議検討中です。

また人通りの少ない危険箇所が 非常に多いという事がわかり、巡回 パトロール等見守りの強化や防犯 カメラ設置が必要であるという事 で具体的な検討をしています。



問 新生児聴覚スクリーニ ング検査の公費負担を

圏 他市町村の実施状況を 把握して検討

生まれつき聴覚に障がいの 議員 ある先天性難聴の子どもは 1000人に1人から2人の割合でい るとされ、生後間もない赤ちゃんの 耳の聞こえ具合を調べる新生児ス クリーニング検査が生まれた産院 で行われます。費用が実費のため 受けない赤ちゃんもいるとの事、

この検査の公費負担が出来ないで しょうか。

費用は医療機関により異な りますが、平均5000円前後と 聞いています。

今後、本町としましても必要な検 **査であると考えていますので、他市** 町村の公費負担の実施状況を把握 して検討していきたいと思います。



問 満4歳児対象の 年中健診の実施を

8 年中健診を推進したい

宗像市では発達障害の早期 発見や子どもの健康増進を 目的に満4歳児を対象にした年中 健診を行っています。3歳児健診 から就学時健診までの空白期間を 埋める健診が必要ではないでしょ うか。

小児科医と協議し、子どもの 健康を守るための取り組み として、4歳児を対象とした年中健 診を推進したいと考えています。



問 特定健診時に フレイル健診を

圏 依頼することで 実施は可能

フレイルとは虚弱を意味し 議員 加齢に伴い筋肉や心身機能 が低下した状態です。この状態を 放っておくと要介護状態になる恐 れがあります。特定健診時にフレ イルチェックシートを活用したフ レイル健診をしてみてはどうです か。

↑総合健診の委託事業所を決 定後、業者に対し、健康診断 時にフレイルチェックシートの送 付や回収を依頼することは可能で あると思います。またその結果、町 民に対しフレイルへの関心を図り、 健康なまちづくりを推進するため の健康増進事業を展開していきた いと思っています。



問 観光推進にスピード感を

層 今後一層努力する

ル及び策定作業の進捗状況はど うなっていますか。②本町でも観光大 使を任命してはどうですか。 ③観光の目 玉、魚楽園の災害復旧の見通しは。 ④観 光協会への指導、助言、支援はどうなって いますか。

①商工会議所、観光協会からも 意見を求め作成中で3月議会に 計画案を提出する予定です。②ボラン ティアでやってもらっても実際の活動 には多額の費用がかかるので検討課題 にしています。③国の助成金が決まっ て設計協議中です。今年度中には復旧 完了の予定です。 ④協会の組織体制強 化が進んでいないので、町としてもその 点に力を入れたいと思っています。



圏 住民の協力が不可欠

ごみ・し尿の処理を大任町に委 ねる形で施設建設が進んでいま すが、一方で町内の環境意識が低下し不 法投棄が増える心配があります。どう 対応しますか。

不法投棄防止看板や監視カメ ラの設置、公用車への環境標語 掲示、監視パトロール強化で美化意識 の向上に努めます。何より住民の協力 が不可欠です。

問 川崎駅利用率向上にアイデアを

圏 難しい課題です

①寂れゆく川崎駅を救うには鉄 道の利用率アップが必要。その



▲駅前に移転した川崎町観光協会

対策は。②駅裏を有効利用して下さい。

①鉄道の豪雨災害を機に北九 の意見交換会が発足。そこでも協議し ていきますが難しい課題です。②本町 商店街活性化プロジェクト実行委員会 が結成されて活動中であり、そこを見 守りつつ対策をとりたいと思います。

問 危険交差点は 全て調査済みですか

圏 改良の要望等は区長から来ます

交差点の安全点検と改良推進が 必要です。危険調査は実施して ますか。また、川崎大橋(跨線橋)の県へ の移管の件は進んでいますか。

特別調査はしていませんが、一 把握しております。改良については、 必要があれば区長等から要望が上がっ てきます。跨線橋の県移管は進んでい ません。県としても、まだ改良すると ころが多いため具体的な話しに到達し ていない状況です。

問 教育関連施設維持補修 計画の有無は

層 平成32年迄に 長寿命化計画を策定

教育施設老朽化に対処するため 議員の計画が必要。その有無は。ま

た通学路のブロック塀の安全は確認済 みですか。

現時点では作っていませんが、 国から策定するよう指示がで ています。

ブロック塀調査は概ね危険なしです が、さらに細かく調査します。

①町のスポーツ振興計画の有 無、②少年スポーツへの支援体 制、③ゴルフ場利用税交付金をスポーツ 財源にしてはどうか。

①社会教育推進計画の中には ありますが、今後独立させて策 定したい。②施設利用料減免、町主催 のスポーツ教室開催、広報等で支援し ています。

③提案は理想的だが貴重な 1400万円の一般財源であり、そ うもいきません。



きがいたのである。

委員会の活動状況を報告します

議会では年4回の定例会の休会中は、それぞれの委員会に分かれ、所管の現地調査や机上審議をしています。



総務常作委員会

白老町の町民参加のまちづくりを視察

北海道白老町では、昭和63年から町民と行政職員の協働によるまちづくりを進め、総合計画等の策定時には、多くの町民が参画する仕組みが構築されています。

平成26年度からは総務省の集落支援員制度を活用して、地域と行政の「パイプ役」、地域のまちづくりの「推進役」を目的に「地域担当職員」を4地区に配置し、地域コミュニティ活性化の支援を行っています。

本町においても、まちづくりへの町民参加の仕組み を構築するとともに、国の新しい施策を活用し、町の 活性化に取り組む必要性を感じました。

夕張市の財政再生の取り組みを視察



▲他団体と合同の研修(夕張市)

北海道夕張市では炭坑閉山後のインフラ整備、観 光事業への投資の失敗により、財政事業が悪化し、 赤字隠しのための不適正な会計処理もあって353億 円の赤字を抱え財政再建団体となりました。

その後、財政再建を目指し、市民税や使用料の値上げ、公共施設の廃止、人件費の大幅な削減を行った結果、赤字額は減ったものの、炭鉱最盛期に12万人いた人口は8200人程となり、職員も大幅に減り市役所業務に支障が出る状況となりました。

その反省から、現在は、国や北海道からの財政支

援や人的支援を受けながら、財政再生と地域再生の 両立を目指した取り組みを進めています。

財政状況が悪化すると住民にも重い負担が強いられるため、本委員会も、今後の町の財政状況を注視していきたいと思います。

行政機構のスリム化を要望

川崎町の課長数や職員数は、人口が同程度の鞍手町や福智町と比べると多く、委員からは課長や職員の削減を求める声が出されました。これに対し担当課からは、町長も任期中に課の統廃合を行う予定であると回答があり、12月の本会議に課設置条例の一部改正議案が提出されました。

委員からは、職員だけで構成された委員会では、 身を切る改革は難しいので、外部の有識者の意見を 聞く機会を設けるべきとの意見が出されました。

防災無線の放送基準明確化を要望

現在、川崎町には役場庁舎に設置している親局と 併せて、60箇所の防災行政無線が設置され、町内全 域への放送をカバーしています。

放送が聞こえないと申し出があった場合は、個別 受信機を各家庭に貸し出しています。また、直前の 放送内容を聞きたい場合は、電話代無料の「フリー

アクセスサービス」の紹介がありました。

委員からは、防災行政無線を気象情報や災害情報以外で放送する場合の基準や、放送の時間帯を決めるなど、放送基準の明確化を図るよう要請いたしました。



▲防災無線用スピーカー

民生文教学厅委員会

竹田津小学校の家庭と地域が連携した 取り組みを視察

大分県国東市立竹田津小学校は、全校生徒22人で4クラス、先生方も明るく、やる気の満ちた姿が印象的でした。パソコンはもちろん、タブレット、電子黒板の活用も長く、イメージとしては本町の旧安宅小学校のような感じであり、地域と密着した子どもの育成が郷土愛を育み人づくりを支え、多くの著名人を輩出する地域であることがわかりました。

校長先生からは、次代を担う児童生徒の健全育成と 学力向上および地域教育力向上を支援するため、学習 支援や読み聞かせ、放課後学びの教室などを退職され た教員や地域の方などが行っているとのことでした。

また、「気付き 心で感じ 考え 自ら語り 行動 する たくましい竹っこの育成」という学校教育目標 達成にむけて、学校関係者や各地区の方々が集まって 意見交換などを行う会議も行っているそうです。

そして、保護者や地域の方々との交流を図るため、 老人会との交流会を開いたり、地域の方々とのバーベ キューを行うなどの取り組みなども行っているとの ことでした。

校長先生からの説明を聞き、学校、家庭、地域が連携する教育基盤整備の重要性を再認識するとともに、本町との比較検証や今後の課題について考える機会を得た有意義、有益な研修となりました。



▲竹田津小学校視察

池尻小学校、池尻中学校へ視察



▲池尻小学校視察

大規模改修後の池尻小学校へ視察

大規模改修後の不具合や新たな要望などを建築課立ち会いのもと校長先生から話を伺い、授業内容を見ながら、各所を拝見しました。校舎がとても明るくなりLED照明でさらに以前の暗さも解消されていました。学校がきれいになってからは、落書きなどのいたずらもほとんどなくなったということでした。

池尻中学校へ視察

不登校や生徒の素行調査を行いました。不登校は 減少傾向にあるとの報告でしたが、態度や服装などで 自宅待機を命じられる生徒も多く、処分的な下校後の ケアが不足していることが、補導や非行のきっかけに なっているとのことでした。その対応として学校側 に、地域の方たちと連携を深めて生徒たちを見守る手 段等を提案しました。

また、民生文教常任委員会の要望で不衛生で悪臭の 絶えないトイレを以前予算付けをしていただき、大が かりに改修をしていたのですが、全く改善されていな い箇所があり、困っているとの相談があり、教務課に 改善を要望しました。





建設建業常作委員会

4つの川崎町大型共同作業所は

9月の本会議にて条例の一部が改正され、それに伴 い4カ所の大型共同作業場について改めて調査を行 いました。

4カ所の大型共同作業場のうち、育苗共同施設、陶芸 教室として活用を行っている施設の2カ所は現在使用 されており、縫製工場とシイタケ栽培共同作業所につ いては、現在使用されていないと説明がありました。

これらの施設は処分制限期間や耐用年数などを考 慮し、今後有効利用できるか否か等検討を行い、その 後の対応をどのようにしていくのかという意見が委 員会より出されました。

現在利用されている大型共同作業場については、こ のまま継続し利用を行い、また利用されていない大型 共同作業場につきましても、有効利用してもらえるよ う組合とも協議を行っていくとの回答でした。

また、現在雨漏り等により使用できないところもあ るとのことですが、川崎町大型共同作業場等の設置及 び管理に関する条例により、利用者は、作業場の諸経 費、管理運営の諸経費一切を負担しなければならない と規定されているため町としては、組合の方に任せて いる現状であると説明を受けました。

11月23日開園の城山子どもの森公園へ

開園に向け城山子どもの森公園には、遊具や遊歩道 が整備されていましたが、そこにはたくさんの落ち葉

や小枝があり、周辺の木には、枯れた蔦が絡んだりし ており、子どもがぶら下がると危険であるといった状 況等が見られました。

安全確保や景観保持のためにきちんと整備して頂 くよう言及しました。

また、以前より指摘をしていました遊歩道脇に放置 されていた伐採後の木は、開園前には撤去の予定であ ると説明を受けましたが、伐採された木のみでなく遊 歩道横の木の切り株も一緒に撤去してもらうよう再 度指摘するとともに、竹の侵入防止対策も合わせて 行って頂きたいと言及しました。

トイレ、公園内の清掃や管理についても今後どのよ うに行っていくのか明確にしていただくよう要望し ました。





職会だより編集特別委員会

町村議会広報クリニック (平成30年11月14日)

平成30年8月1日発行131号についてのクリニックを受け、今後はアドバイスを真摯に受け、さらに研鑽に励みます。

- 高 評 価・題字を住民参加型で行っている
 - ・表紙と連動した最終ページの今回の主人公や追跡レポート
 - ・視覚的に情報区分が図れており、予算については具体例を挙げ分かりやすい 等

- 今後の課題・表紙の写真は、もう少し子どもの表情が見えるショットが望ましい
 - ・一般質問では、見出しに各議員の質問内容が容易にわかるようにした方がよい 等

一般質問は、質問を行った各議員が1ページずつ記事を担当していますが、今までも短くまとめていただくようお 願いをしていました。今後はさらに要旨を簡潔に記載して頂くよう協力をお願いします。



統合中学校に関する調査特別委員会

中学校の通学路新設道路等

中学校通学路新設道路について執行部から説明が あり、道路工事の工程表を加えた統合中学校整備にか かる工程表が配布されました。新設道路のルートが ほぼ決まって、今後は地権者との交渉、税務署との事 前協議を進めていくとの説明があり、さらに試掘によ り文化財が発掘されなければ32年2月末、発掘されれ ば32年8月末に完成する予定とのことでした。

また別の日の委員会では、新設道路完成までのスケ ジュールについての質問があり、執行部からは、現在 用地買収は9割程度内諾をいただいていて、試掘を 行って歴史的価値のあるものが発見されれば、今年度 いっぱいは工事にかかれなくなるということであり ました。

また、仮に工事が遅れたとしても行政の流れが変わ らないように、速やかに事業を進めていただきたいと の意見もありました。

そして、委員より池尻中学校や鷹峰中学校の通学経 路等の検討結果についての質問があり、執行部からは 保護者アンケートを元に、スクールバスの運行も含め 検討しますという回答がありました。

中学校の駐車場整備

新設される中学校の駐車場は、造成面積が4,700平 米、駐車場台数150台を計画しているとのことでした。 委員からは、法面を張芝ではなく、コンクリート張に したほうがランニングコストの節約につながるので はないかとの意見も出ました。

また、ゲリラ豪雨等への対応は大丈夫であるかとの 質問があり、執行部からは水路がオーバーフローして も周りが浸食されないように施工を行うとの回答が ありました。

また、別の委員からは、この流末は農業用水路に排 水を接続する設計なので、ゲリラ豪雨が発生した場合 は、農業水路もオバーフローの状態にあると思われ、 この駐車場の表面排水が一度に放流されると、その農 業排水路がさらにオバーフローとなり、浸食され災害 が起こるというような現状が考えられるので、再検討 されるように求めました。

川崎中学校解体工事等

解体中の川崎中学校の現地調査も行いましたが、す でに中学校校舎の解体工事は終了しており、中学校の 駐車場整備予定地と新設の通学路整備予定地を確認 しました。

また、解体工事中の工事車両の安全対策について説 明があり、執行部からは、工事施工中に地元住民から の苦情は無かったということ、また解体したがれきを 運ぶ運搬車両は、産廃処理の車両とわかるようにス テッカーを張っており、警備員も多い時で5人態勢で 行うなど、安全対策には十分注意を図っていたことの ことでした。

最後に、執行部から新校舎におけるICTの配置図面 の提出や統合中学校校章デザインの採用作品の決定 の報告もありました。



▲安全祈願祭



議会の傍聴においでください

次回定例会予定

- ※卒業式により日程が変更になる場合があります。
- ◎3月 5日…本会議(初日)
- ◎3月 8日…本会議(中日)
- ◎3月15日…本会議(一般質問)
- ◎3月18日···本会議(最終日)







実行委員長 正 さん (87才) 赤山 (本町区)

- ●川崎本町商店街活性化プロジェクト実行委員会
- ●[いいばい朝市]館(本町、元おもちゃのサイトウ)は2年で オープンにこぎつけました。県や町の多大なご支援に大い に感謝をしています。
- ●素晴らしいスタッフと、応援をいただいた地域のみなさん やお客さんにも感謝です。

(PR) 当面は毎週水曜日、朝9時~昼2時 地元の野菜や魚、肉などを販売

※地域の寄り合い場所にも御利用ください。



30年夏、エアコン設置の予定だったが・・

29年、議会より強く要望した「エアコンの設置」については、30年度に全校配備の予定でしたが、国の予 算が下りなかった為、30年の夏には間に合いませんでした。

お待たせしました。

今年の夏、設置予定で計画が進んでいます。

中学校統合をひかえていたので、池尻中学校・鷹峰中学校は エアコン設置を考えていませんでしたが、計画の見直しをし、

1学期末ごろ、各学校に整備されることになりました。

これで児童、生徒の皆さんが快適に過ごせる環境が整います。



編集 記

ちょっと前までは出来ていた事が、いつの間にか出来なくなっている事 に気づいてしまった今日この頃。さっと立ち上がろうとして思わず

「あいたたたぁ」なんて・・・日々、元気でありたいと 願い! 歳を重ねながら「昨日より今日、今日より

明日 | と前を向いて歩いていきたい。

~誕生日を迎えて~

委委委委

樋 寺 小 大 松 手 千 口田田谷岡嶋葉

由 隆響卓清代美

北

俊 雄

代